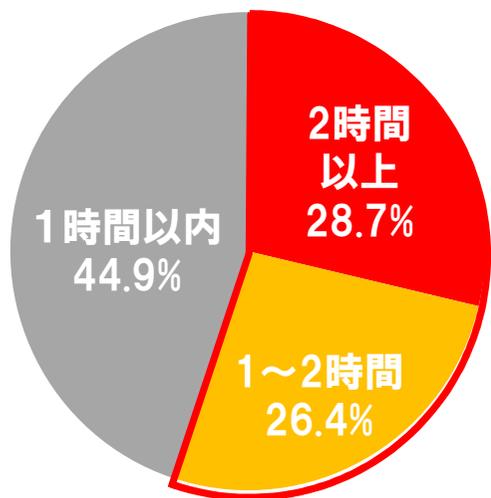


○ 運行管理の効率化やドライバーの安全確保等を目的として、ETC2.0で収集される車両の位置情報等のデータを事業者へ提供する社会実験を平成28年2月より実施

## 荷待ち時間の現状

**約半数で1時間以上の荷待ち時間※が発生**

※主要産業の配送センターにおける到着から荷役開始までの時間



国土交通省  
トラック輸送状況の実態調査  
(平成27年)より

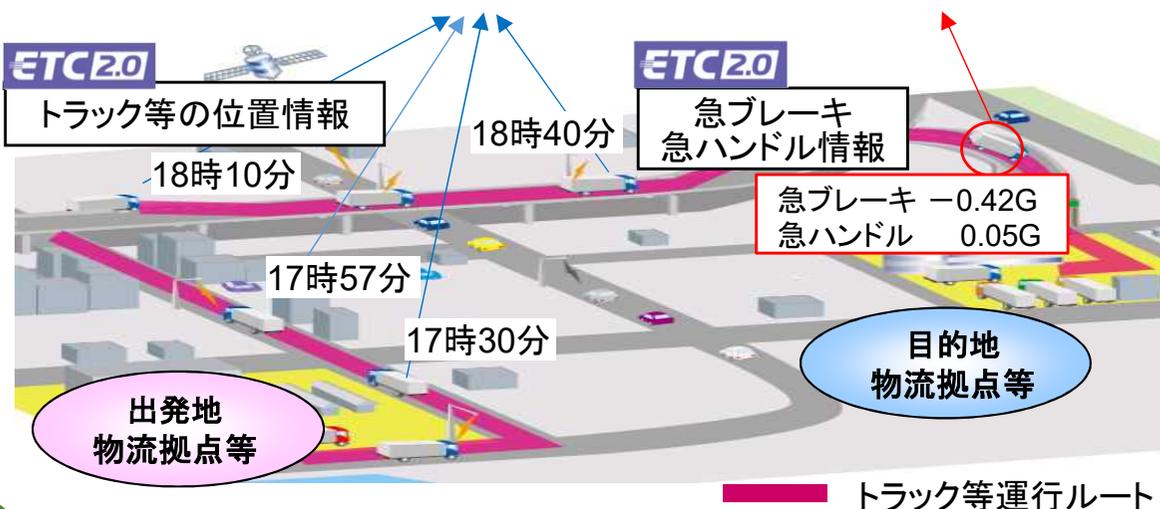
## サービスイメージと期待する効果

### 物流事業者等

リアルタイムな位置情報で  
正確な到着時刻を予測  
⇒ 荷待ち時間を短縮

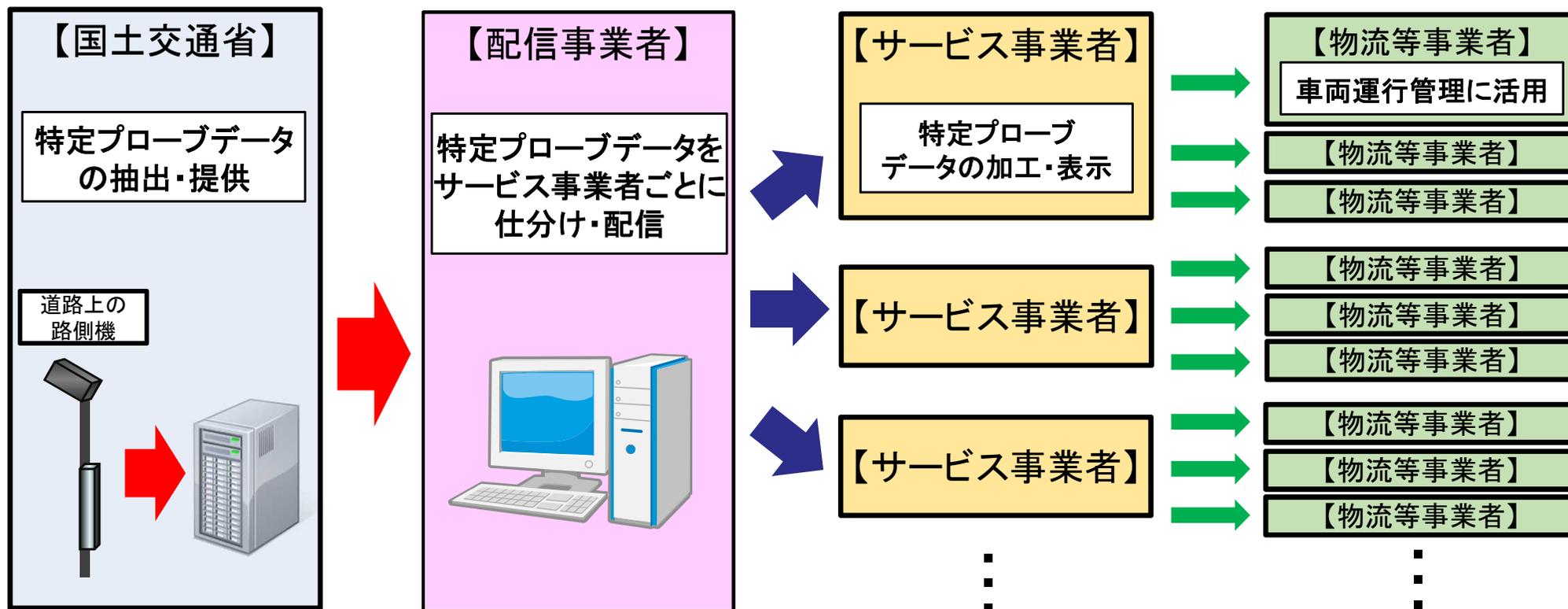


急ブレーキ情報等により  
運転の危険箇所を  
ピンポイントで特定  
⇒ ドライバーの安全確保



**平成30年8月30日(木)より本格導入開始**

○ ETC2.0を搭載した、特定の車両の走行位置や急ブレーキ等のデータ(特定プローブデータ)を抽出し、配信事業者に提供。配信事業者は、特定プローブデータの加工・表示を行うサービス事業者に配信し、物流事業者等の車両運行管理等に活用。



## ■ 特定プローブデータの取扱い

- ・特定プローブデータは、当該車両が関係するサービス事業者、物流事業者にのみ提供
- ・各事業者は特定プローブデータを車両運行管理以外の目的には使用しない。

※特定プローブデータ:事業者等の申請により、車両を特定して抽出したもの